

進捗報告

2016.09.16

s16015

ゲン テフン

目次

- 今週読んだ論文 1 つ
- 今後の研究テーマ
 - 背景
 - テーマ提起
- 研究の事前準備
 - 現状調査
 - 開発環境準備
- 研究計画
 - WBS
- 来週の予定

多様なデータ構造を有するKey-Value Store アプライアンスの設計

2016年 慶應義塾大学大学院理工学研究科 徳差 雄太 松谷 宏紀

- Key-Value Storeのハードウェアアプライアンスの設計について報告書

まとめ

- key-valueストアとはキーと値の組を書き込み、キーを指定することで値を読み出せるデータベース管理ソフトウェア。
- シンプルな問い合わせ
- データの格納先は、メモリやHDDやSSD上。
- 複数台にデータを分散させられるものがある。
- 高い性能（※：微妙。さらに調査必要）
- 高いスケーラビリティ
- 高い可用性（含耐故障性）

今後の研究テーマ

- テーマ

- 分散処理を用いるモバイルアプリ開発

- 背景

- 近年、IoT向けセンサデータ集約システムなど、組み込み用途においても大容量のデータを扱う必要が生じている。
- クラウド、特にPaaS向けのソフトウェア開発が現実のものとなる。
- リレーショナルデータベースとは違ったデータベースが勢いを増している

今後の研究テーマ

- テーマ提起

- もし、顧客の案件では、分散処理に関する要求がある場合、
一体今までの経験によって対応できるか？どこまで対応できるか？
- 分散処理に関する実際プロジェクトに参加する際に、一体
何が必要なのか？
- 分散処理の知識を持たせば、どんな価値が提供できるか？

研究の事前準備

現状調査

■事例：

- ・ At Home Co.,Ltd.
- ・ 調査方針：NoSQL選定理由、課題、解決策、結果
- ・ 調査期間：9月15日～9月30日
- ・ 調査進捗：70%（遅れ）

■技術勉強：（着手中）

- ・ 開発環境設定（サーバー、クライアント、エミュレーション等）
- ・ MongoDBの使い方
- ・ MySQLとMongoDBの比較
- ・ 期間：WBSに参考

研究計画

- 全体WBS（詳細は今後提出させていただきます）

[illegible]

来週の予定

- 現状調査（続く）
- 技術勉強
 - MongoDB勉強